令和元年度

海洋科実践記録集

海のまち　ふるびら

古平町立古平小学校

目　次

Ⅰ　令和元年度年間指導計画
・　「総合的な学習の時間」全体計画　・・・・・・・・・・・・・　１
・　「総合的な学習の時間」単元計画　・・・・・・・・・・・・・　２
・　「総合的な学習の時間」指導計画３，４学年　・・・・・・・　３

Ⅱ　授業研究を通して
〈１２月５日　海洋科実践発表会の取組　など〉
・　発表会指導案　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　10
・　成果と課題　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　13
・　３学年指導案　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　14

Ⅲ　具体的な実践
〈「海洋教育パイオニアスクールプログラム」
全道成果発表会（代表４学年児童２名参加）資料　より〉
・　「移動理科教室」（海草標本作り）　・・・・・・・・・・・・　15
・　「サケの稚魚」　・・・・・・・・・・・・　16
・　「水中や水辺の生き物見学」　・・・・・・・・・・・・　18
・　「サケの一生」　・・・・・・・・・・・・　19
・　「漁師さんの仕事」　・・・・・・・・・・・・　20
・　「海浜清掃」　・・・・・・・・・・・・　21
・　「ウニの海」　・・・・・・・・・・・・　22
・　「ニシンの海」　・・・・・・・・・・・・　24
・　「古平とニシン」　・・・・・・・・・・・・　25

平成 31 年度（2019 年度）　古平小学校　総合的な学習の時間　全体計画

【児童の実態】
○元気よく明るいあいさつができる
○基礎学力に課題を持つ児童の割合が多い
○指示されたことは取り組もうとするが，自ら進んで考えたり行動したりすることは少ない

【地域の実態】
○地域としてのつながりや連携性が高い
○学校教育に対する理解があり，協力的である

【学校の教育目標】　勇気ある子ども
（1）自分で考える子
（2）思いやりのある子
（3）たくましい子

【総合的な学習の時間の目標】
「海のまち　ふるびら」について探求的に学び，目的や根拠を明らかにしながら課題を解決し，自己の生き方を考えることができるようにする。
(1) 課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに，町のよさに気付き，それらが人々の努力や工夫によって支えられていることに気付く。
(2) 自ら問いを見い出し，その解決に向けて調べて得た情報を基に考える力を身に付けるとともに，考えたことを根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付ける。
(3) 学習に主体的・協働的に取り組むとともに，進んで地域社会に関わろうとする態度を育てる。

【保護者の願い】
○豊かな人間関係をつくる
○基礎的・基本的な知識及び技能の定着
○思考力，判断力，表現力の育成
○健康で安全な生活

【地域の願い】
○自分たちの地域や文化，自然等に誇りをもつ
○豊かな人間性を身に付ける
○地域と積極的に関わり，行事等にすすんで参加する

【内容】＜目標を実現するにふさわしい探究課題と探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力＞

学年			3年	4年	5年	6年
テーマ			海のまち　ふるびら　～この町の自然と歴史を未来につなげよう～			
探究課題			サケの一生（自然・生命）	ニシンが育つ海（自然・生命）	古平のまちづくり（町づくり）	縄文から未来へ（町づくり）
探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力	知識及び技能		サケを通じて生命・自然の素晴らしさやそれを守る人々の工夫が分かる。	ニシンを通じて生命・自然のすばらしさや人々の工夫や努力が分かる。	小樽市と古平町を比べることで、地域の産業のよさと課題及びそれに携わる人々の願いが分かる。	縄文人の暮らしを調べたり体験したりすることを通して、古平町の魅力を知り、地域の未来像が分かる。
			情報を比較・分類するなど，探究の過程に応じた技能を身に付けている。		情報を比較・分類・関連付けるなど，探究の過程に応じた技能を身に付けている。	
	思考力，判断力，表現力等	課題の設定	自分の関心から地域についての課題を設定し，解決方法を考えて追究している。		地域の人々等の思いをふまえて課題を設定し，解決方法や手順を考え，見通しを持って追究している。	
		情報の収集	目的に応じた対象を決め，自分たちの身近なところから情報を集めている。		目的に応じて手段を選択し，情報を収集したり，必要な情報を選んだりしている。	
		整理・分析	問題状況における事実や関係を，事象を比較したり分類したり，数量などで客観的に比較したりして，特徴を見付けている。		視点を明確にして問題状況における事実や関係と，整理した情報を関連付けたり，多面的に考察したりして理解し，多様な情報の中にある特徴を見付けている。	
		まとめ表現	相手に応じてわかりやすくまとめ，表現している。		相手や目的，意図に応じ，工夫してまとめ，表現している。	
		振り返り	学習したことをふり返り，生活に生かそうとしている。		学習の仕方をふり返り，学習や生活に生かそうとしている。	
	学びに向かう力，人間性等	主体性	課題の解決に向け，目的意識をもって意欲的に取り組んでいる。		課題意識をもって，自分なりの方法を工夫しながら探究活動に取り組んでいる。	
		協働性	課題解決に向けて，身近な人と力を合わせて探究活動に取り組んでいる。		課題解決に向けて，他者と協働して探究活動に取り組み，その大切さに気付いている。	
		自己理解	自分のよさや自分にできることに気付いている。		探究活動を通して，自分の生活を見直し，自分の特徴を理解しようとしている。	
		情報活用力	情報手段の基本的な操作を習得し、適切な方法で情報発信に取り組んでいる。		論理的に考え、情報手段を効果的に活用し情報を収集・整理・発信しようとしている。	
		社会参画	自分と地域とのつながりに気付き，地域の活動に参加しようとしている。		探究活動を通して，自分と実生活・実社会の問題の解決に取り組もうとする。	

【学習活動】
・地域の実態，児童の実態を踏まえ，探究課題を設定する。
・地域の人，もの，ことを生かした学習活動を行う。
・学習成果を表現する場を設定する。

【指導方法】
・児童の課題意識を連続，発展させる支援と工夫を行う。
・個に応じた指導の工夫を行う。
・体験活動を重視する。
・各教科等との関連を重視した指導を行う。
・言語により整理分析したり，まとめ表現したりする学習を重視する。

【指導体制】
・全校指導体制を組織する。
・校内の連絡調整と指導体制を確立する。
・ワークショップ研修を重視する。

【学習評価】
・ポートフォリオを活用した評価の充実を図る。
・個人内評価を重視する。
・指導と評価の一体化を充実する。
・期末，学年末には指導計画を評価・改善し，次年度の計画に生かす。

【各教科等との関連】

国語	社会	算数	理科	生活科	音楽
・自分の思いや考えが相手に伝わるように表現する力 ・相手が伝えたい事柄を正確に理解する力 ・言語についての知識や理解，技能　など	・社会的な事象に関心を持ち，進んで調べようとする態度 ・統計，資料，年表用を読み取り活用する力 ・観察や調査した事柄を関連付ける力　など	・数量や図形に興味を持ち，調べたり試したりしながら課題を解決していこうとする力 ・目的に応じて表やグラフを使って表現する力 ・筋道を立てて考える力　など	・自然事象に関心を持ち，進んで調べようとする態度 ・科学的に筋道立てて考え，問題を解決する力 ・見通しを持って観察，実験をする力　など	・身近な人々，社会，自然と関わる力 ・自分自身や自分の生活について新たな気付きをする力 ・生活上必要な習慣や技能　など	・音楽によって養われる感性や情操 ・感じたことを歌や楽器で表現する力　など
家庭	**図画工作**	**体育**	**外国語活動・外国語**	**特別の教科　道徳**	**特別活動**
・日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能 ・家庭生活をよりよくしようと工夫する力と実践的な態度　など	・表現や鑑賞の活動や等で養われた感性や情操 ・つくりだす喜び ・形や色，材料などから発想する力 ・材料や用具を用いる力　など	・健康で安全な生活を営む実践力 ・たくましい心身　など	・異なる言語や文化を理解する力 ・積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度 など	・課題解決に向けて主体的に活動するための道徳的な判断力，心情，実践意欲と態度　など	・話合いの仕方 ・集団をよりよく指定校とする意欲及び態度 ・自発的，自主的に活動を進める力　など

【地域との連携】

小樽市水産高校
余市町水産博物館
北海道立水産試験場
小樽市水産博物館
町史編纂室
よしの水産
縄文文化センター
積丹漁協
⇔
教育委員会

古平小学校　総合的な学習の時間　学年系統表（海の町　ふるびら）（各学年年間70時間）

目標

「海のまち　ふるびら」について探求的に学び，目的や根拠を明らかにしながら課題を解決し，自己の生き方を考えることができるようにする。
(1) 課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに，町のよさに気付き，それらが人々の努力や工夫によって支えられていることに気付く。
(2) 自ら問いを見い出し，その解決に向けて調べて得た情報を基に考える力を身に付けるとともに，考えたことを根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付ける。
(3) 学習に主体的・協働的に取り組むとともに，進んで地域社会に関わろうとする態度を育てる。

	学年	3年	4年	5年	6年
	テーマ	サケが上る古平川	ウニとニシンの海	古平のまちづくり	縄文から未来へ
前期 4月～9月	① 課題の設定	・サケの稚魚を観察し、不思議に思ったことを「疑問一覧表」にする。 ・単元を見通す。	・「漁師の仕事」「ウニ」について、知っている事と疑問を一欄表にする。 ・単元を見通す。	・A：稲穂を観察し、「イネ」について知っている事と疑問を一欄表にし、単元を見通す。 ・B：小樽運河にいての疑問を一欄表にする。	・「縄文土器」や「縄文人の食事」に触れ、縄文人の暮らしについての、疑問を一欄表にする。 ・単元を見通す。
	② 情報の収集	・小樽水産高校と連携し、サケの稚魚を飼育・放流し、分からないことを質問したり調べたりする。	・「漁師の出前授業」で、漁師の仕事について学ぶ。 ・「ウニむき見学」「イソツブ駆除体験」を通して、仕事に工夫について調べる。	・A：「田植え体験」と「学級園での稲の栽培」を行い、稲作の工夫を学ぶ。 ・B：小樽運河を見学し、小樽の町づくりについて学ぶ。	・古平町郷土資料室で、出土品を見学する。 ・縄文文化センターで、縄文人の暮らしについて学ぶ。
	③ 整理・分析	・調べたことを整理する。 ・これまでの飼育観察シートを分類する。 ・疑問一覧表を再確認する。	・調べたことを整理、分類する。 ・疑問一覧表を再確認する。	・B：小樽の町づくりについて学んだことを整理する。 ・B：疑問一覧表を確認する。	・縄文人について学んだことをテーマごとに、整理する。
	④ まとめ・表現	・サケの稚魚について調べたことを、紙芝居やポスターの形でまとめ、参観日等で発表する。 ・学習のふりかえりをする。	・「漁師の仕事・ウニ」について調べたことを「図鑑」の形にまとめ、参観日等で発表する。 ・学習のふりかえりをする。	・B：分担して、「壁新聞」にまとめ、参観日等で発表する。 ・B：学習の振り返りをする。	・縄文人について学んだことをテーマごとに、壁新聞にまとめ、参観日等で発表する。 ・学習の振り返りをする。
後期 10月～3月	① 課題の設定	・古平川を遡上するサケを観察し、不思議に思ったことを一欄表にする。 ・単元を見通す。	・「古平を作った魚」として、「身欠きにしん、モッコ、ニシン魚場の写真」を観察し、疑問を一欄表にする。・単元を見通す。	・C：古平町の福祉施設について、知っている事や、疑問に思ったことを一欄表にする。 ・C：単元を見通す。	・古平町についてこれまで学んできたことを振り返り、これからの古平町の課題を考える。 ・単元を見通す。
	② 情報の収集	・小樽水産高校と連携し、サケの卵を飼育する。分からないことを質問したり調べたりする。	・道立水産試験場や郷土資料室を訪問し、ニシンの生態や漁の歴史について調べる。	・A：「稲刈り体験」を通じて、仕事の工夫について、調べる。 ・C：福祉施設を訪問し、仕事の工夫や「バリアフリー」について、調べる。	・インターネットを活用し、古平町と同等の人口の町どれくらいあり、その町がどんな町作りをしているかについて調べる。
	③ 整理・分析	・調べたことを整理する。 ・これまでの飼育観察シートを分類する。 ・疑問一覧表を再確認する。	・学習したことを分類し、グループごとにテーマを決める。 ・疑問一覧表を再確認する。	・A：稲の成長と農家の仕事について調べてきた学習シートを整理する。 ・C：調べたことを整理し、疑問を確認する。	・調べたことを整理し、古平町にも活用できるアイデアを考える。 ・アイデアごとに、学習グループを決める。
	④-1 情報活用スキル	・ローマ字で文字が入力できる。 ・キーワード入力をして、調べたいことを検索できる。	・かんたんな文章をローマ字で入力できる。 ・プレゼンテーションソフトで、文章と写真を組み合わせて、かんたんな発表ができる。	・調べたいことを検索することができる。 ・プレゼンテーションソフトで、文章と写真を組み合わせて、発表ができる。	・モラルを持って、インターネットを活用できる。 ・プレゼンテーションソフトで、魅力的な発表ができる。
	④-2 まとめ・表現	・サケの一生について調べたことを、紙芝居やポスターの形でまとめ、2年生に発表する。 ・学習のふりかえりをする。	・ニシンについて調べたことをプレゼンテーションの形にまとめ、3年生に発表する。 ・学習のふりかえりをする。	・C：福祉施設やバリアフリーについて調べたことをプレゼンテーションの形にまとめ、4年生に発表する。・学習の振り返りをする。	・「古平町の未来への提言」をグループごとにプレゼンテーションの形にまとめ、「未来会議」で発表する。・学習のふりかえりをする。
学習リソース		小樽水産高校古平栽培漁業実習場 0135-42-2680 古平サケマス孵化場	古平役場 古平漁協青年部 余市中央水産試験場0135-23-7451	稲作農家堀さん080-2875-6541 小樽市立博物館運河館0134-22-1258 元気プラザ0135-42-2182	函館市縄文文化交流センター 0138-25-2030

第３学年　総合的な学習の時間年間指導計画　（年間　７０時間）

単元名「サケが上る古平川」

○自然環境「サケの稚魚」…２４時間（１４＋１０）　○自然環境「水中や水辺の生き物見学」…８時間
○自然環境「サケの一生」…１８時間（１０＋８）　○情報活用…２０時間

月	「小単元」 □評価の観点	課程	学習目標と評価	学習活動	＊留意点 ◇評価方法	備考
4 （6）	「サケの稚魚」１（14） □課題の設定 □主体性	課題の設定	○サケについて事前に自分が知っていることや、稚魚の様子を調べて不思議に思ったことについて積極的に話し合い、今後の学習の課題を考えることができる。	これからの学習内容を知り、１年間の見通しを持つ。　６ｈ ・サケについて知っていることと不思議に思ったことをについて話し合い、一覧表にまとめる。（２） ・サケの稚魚を調べ、不思議に思ったことを話し合う。（２） ・一覧表を整理して調べ学習の計画を立てる。（２）	＊これからの活動に、興味関心をもち、意欲的に計画を立てることができるよう支援する。 ◇発表・観察	図鑑や画像
5 （6）	□知識（サケ稚魚） □技能（要点メモ）	情報収集	○身近なところから情報を集めることができる。 ○自分たちの疑問を解決するために、積極的に質問をしたり、事物に触れたりして、追究することができる。	サケの稚魚を飼育・放流し、分からないことを質問したり調べたりする。　６ｈ ・サケの飼育の仕方を水産高校の先生にインタビューをする計画を立てる。（２） ・飼育の仕方を教わるとともに、サケを放流し、様子をふり返る。（３） ・サケの稚魚を飼育し始め、観察する。（１）	＊身近な人を「教材」として調べ学習を行う。 ＊学習したことは、ワークシートにまとめさせ、ポートフォリオに整理させる。 ◇発表・観察 ◇ワークシートへの記入	・事前に小樽水産高校古平栽培漁業実習場の先生に依頼しておく。 ・放流は古平大橋付近、上記と連携 ・飼育の仕方も上記に教わる。 ・随時「飼育観察シート」記入
6 （8）	□課題解決力 □課題発見・設定能力	整理分析	○サケの稚魚について調べてことを整理・分類し、特徴を見つけることができる。	サケの稚魚についてまとめる計画を立てる。　２ｈ ・サケの稚魚を観察したり放流したりして学んだことを分類し、整理する。（１） ・一人一人が興味を持ったことをポスターの形式にまとめることを理解し、まとめていく計画を立てる。（１）	＊完成をイメージして、情報を整理する。 ◇発表・観察 ◇ワークシートへの記入	・随時写真で記録しておく。
7 （5）	「水中や水辺の生き物見学」　(8) □技能（要点メモ） □表現力 □主体性 □協働性	情報収集・整	○「水族館」で見学してきた海洋生物について整理し、まとめ表現することができる。	「水族館」で見学した海洋生物で興味を持ったものを、班で壁新聞に表す。８ｈ ・海洋生物を見学する。（２） ・班でポスターにまとめる。（５） ・学級で発表し合う。次は同じように「サケ	◇「見学のしおり」へのメモをもとにポスターの作成 ◇発表・観察	６月中旬の「見学学習」で「おたる水族館」見学

	□ふり返り	理 ・		の稚魚」を、まとめていく見通しを持つ（１）		
8 （3） 9 （7）	「サケの稚魚」２（10） □表現力 □主体性 □協働性 □ふり返り	まとめ表現	○「見る人も読みやすいポスターを作ろう」という相手意識をもって、分かりやすくまとめ、表現することができる。	ポスターを作成し、発表、ふり返りを行う。 １０ｈ ・自分が興味を持った項目について、ポスターまとめる。（６） ・分かりやすく発表できるように練習する。（２） ・まとめたものを班ごとに発表する。（１） （※４年生に発表） ・ふり返る。（１）	＊ポスターを読む人を想定し、わかりやすい表現となるように指導する。 ◇ポスター ◇ふりかえり ◇発表・観察	・ワークシートや飼育観察シート，写真をもとにまとめていく。 ・完成したポスターは、発表後に掲示する。
１０ （4）	「サケの一生」１（10） □課題の設定 □主体性	課題の設定	○サケの一生について事前に自分が知っていることや不思議に思ったことについて積極的に話し合い、今後の学習の課題を考えることができる。	「サケの一生」についてまとめることの見通しを持つ。　４ｈ ・サケの遡上を見学し、サケの一生について知っていることと疑問に思ったことをについて話し合い、一覧表にまとめる。（３） ・一覧表を整理して調べ学習の計画を立てる。（１）	＊これからの活動に、興味関心をもち、意欲的に計画を立てることができるよう支援する。 ＊前単元で学習した「知っていること」と「わからないこと」をそれぞれ一覧表にまとめる作業を行わせることで、学習の基本的な構造を理解させる。 ◇発表・観察	・古平川にて見学
１１ （8）	□知識（サケの一生） □技能（要点メモ）	情報収集	○身近なところから情報を集めることができる。 ○自分たちの疑問を解決するために、積極的に質問をしたり、事物に触れたりして、追究することができる。	サケの卵を飼育し、分からないことを質問したり調べたりする。　４ｈ ・サケの一生を水産高校の先生にインタビューをする計画を立てる。（１） ・サケの一生や卵の飼育法について教わる。（１） ・サケの卵を飼育し始め、観察する。（２）	＊身近な人を「教材」として調べ学習を行う。 ＊学習したことは、ワークシートにまとめさせ、ポートフォリオに整理させる。 ◇発表・観察 ◇ワークシートへの記入	・事前に小樽水産高校古平栽培漁業実習場の先生に依頼しておく。 ・飼育の仕方も上記に教わる。 ・随時「飼育観察シート」記入
１２ （6）	□課題解決力 □課題発見・設定能力 □表現力 □主体性 □協働性 □ふりかえり	整理分析	○サケの一生について調べてことを整理し、まとめ表現する事ができる。	サケの一生についてまとめる計画を立てる。 ２ｈ ・サケの卵を観察したり一生についてインタビューしたことや調べたことを、整理する。（１） ・一人一人が興味を持ったことを紙芝居の形式にまとめることを理解し、まとめていく計画を立てる。もっと知りたいことを調べる計画を立てる。（１）	＊完成をイメージして、情報を整理する。 ◇発表・観察 ◇ワークシートへの記入	・随時写真で記録しておく。

1 （2） 2 （9）	「キーワードけんさくをしよう」（２０） □技能（パソコン操作）	情報活用	○ローマ字で文字を入力することができる。 ○パソコンとキーボード入力の基本を習得し、調べたいことを検索することができる。	基本的なパソコン操作を理解し，ローマ字入力をしながら文字打ちしたり，検索したりする。　２０ｈ ・パソコンを起動したり、タイピングソフトやタイピングページ，ワード等を使ってひらがな入力をしたりする。（１０） ・自分の調べたいキーワードを決め、検索エンジンを使って、調べる。（１０）	＊ yahoo キッズの「ひらがなタイピング王」が学習に適している。 ◇発表・観察	・ローマ字ドリルの活用や国語との関連 ・yahoo キッズの「ひらがなタイピング王」
3 （6）	「サケの一生」２ …わかりやすく伝えよう…（８） □情報活用能力 □まとめ表現 □ふりかえり	まとめ表現	○「下級生も読みやすい紙芝居を作ろう」という相手意識をもって、分かりやすくまとめ、表現することができる。	紙芝居を作成し、発表、ふり返りを行う。 ８ｈ ・自分が興味を持った項目について、ポスターまとめる。（４） ・分かりやすく発表できるように練習する。（２） ・まとめたものを班ごとに発表する。（１）（※２年生に発表） ・発表会と３年生での総合学習全体を振り返り、次年度への展望を持つ。（１）	＊紙芝居の聞き手として「２年生」を想定し、下級生にもわかりやすい表現となるように指導する。 ◇発表・観察 ◇階芝居 ◇ふりかえり	

第４学年　総合的な学習の時間年間指導計画　（年間　７０時間）

単元名「漁師さんの仕事」「ウニの海」「ニシンの海」

○自然環境「漁師さんの仕事」…１２時間　　○自然環境「ウニの海」…１３時間　○自然環境「ニシンの海」…１３時間
○町づくり「古平とニシン」…１２時間　○情報活用…２０時間（６＋１４）

月	「小単元」 □評価の観点	課程	学習目標と評価	学習活動	＊留意点 ◇評価方法	備考
4 （6）	「漁師さんの仕事」(12) □課題の設定 □主体性	課題の設定	○漁師の仕事について、自分が知っていることや疑問に思ったことをについて積極的に話し合い、今後の学習の課題を考えることができる。	・これからの学習内容を知り、１年間の見通しを持つ。 ・漁師の仕事について知っていることと疑問に思ったことをについて話し合い、一覧表にまとめる。（1） ・一覧表を整理して調べ学習の計画を立てる。（1）	＊これからの活動に、興味関心をもち、意欲的に計画を立てることができるよう支援する。 ◇発表・観察	
	□知識（漁業） □技能（要点メモ）	情報収集	○身近なところから情報を集めることができる。 ○自分たちの疑問を解決するために、積極的に質問をしたり、事物に触れたりして、追究することができる。	・疑問一覧表の疑問について、家族や知り合いの漁師の方にインタビューをして、自分なりに調べ、学級で共有化する。（1） ・「漁師の出前授業」を実施し、「漁師の七つ道具クイズ」について考えたり、古平の海の生き物について触れて学習する。（2） ・漁師にインタビューをして、自分たちの疑問を解決する。（1）	＊身近な人を「教材」として調べ学習を行う。 ＊身近に漁師がいない児童については、無理に調べ活動をさせず、発表から学習させる。 ＊学習したことは、ワークシートにまとめさせ、ポートフォリオに整理させる。 ◇発表・観察 ◇ワークシートへの記入	・事前に漁に関係する仕事をしている保護者には依頼しておく。 ・出前授業日ついては、古平役場と古平漁協青年部と連携。
5 （6）	□課題解決力 □課題発見・設定能力 □表現力 □主体性 □協働性 □ふりかえり	整理分析	○漁師の仕事や古平の海の生き物について調べてことを整理・分類し、特徴を見つけることができる。	・漁師の出前授業とインタビューで学んだことを分類し、整理する。（1） ・一人ひとりが興味を持ったことを図鑑の形式にまとめることを理解し、学級全体で項目を分担する。（1）	＊図鑑の形式は、統一する。 ＊図鑑の完成をイメージして、目次を作ることにより、情報を整理する。 ◇発表・観察	
-		まとめ表現	○「下級生も読みやすい図鑑を作ろう」という相手意識をもって、分かりやすくまとめ、表現することができる。	・自分が興味を持った項目について、その特徴がわかるように、図鑑の形式にまとめる。（3） ・まとめたページを一人ひとり発表し、一つの図鑑としてまとめる。（1）	＊図鑑の読者として「３年生」を想定し、下級生にもわかりやすい表現となるように指導する。 ◇図鑑のページ ◇ふりかえり	・完成した図鑑は、３年生へ貸し出す

6 （8）	「ウニの海」(13) □課題の設定 □主体性	課題の設定	○ウニやウニ漁について、自分が知っていることや疑問に思ったことをについて積極的に話し合い、今後の学習の課題を考えることができる。	・ウニやウニ漁の仕事について知っていることと疑問に思ったことをについて話し合い、一覧表にまとめる。（1） ・一覧表を整理して調べ学習の計画を立てる。（1）	＊これからの活動に、興味関心をもち、意欲的に計画を立てることができるよう支援する。 ＊前単元で学習した「知っていること」と「わからないこと」をそれぞれ一覧表にまとめる作業を行わせることで、学習の基本的な構造を理解させる。 ◇発表・観察	
	□知識（ウニ漁） □技能（要点メモ）	情報収集	○身近なところから情報を集めることができる。 ○ウニ施設で、自分たちの疑問を解決するために、関係者の方に積極的に質問をしたり、事物に触れたりして、追究することができる。	・疑問一覧表の疑問について、家族や知り合いにインタビューをして、自分なりに調べ、学級で共有化する。（1） ・「ウニ見学」「イソツブ駆除体験」を実施し、ウニの生態やウニ漁の工夫について考えたり、ウニに触れて学習する。（4） ・ウニ漁師にインタビューをして、自分たちの疑問を解決する。（1）	＊資料やインターネットにではなく、身近な人を教材として調べ学習を行う。 ＊身近に漁師がいない児童については、無理に調べ活動をさせず、発表から学習させる。 ＊学習したことは、ワークシートにまとめさせ、ポートフォリオに整理させる。 ◇発表・観察 ◇ワークシート	・ウ二見学ついては、古平役場と古平漁協と連携して実施する。
7 （5）	□課題解決力 □課題発見・設定能力 □表現力 □主体性 □協働性 □ふりかえり	整理分析	○漁師の仕事や古平の海の生き物について調べてことを整理・分類し、特徴を見つけることができる。	・ウニ学習で学んだことを分類し、整理する。（1） ・一人ひとりが興味を持ったことを図鑑の形式にまとめることを理解し、学級全体で項目を分担する。（1）	＊図鑑の形式は、統一する。 ＊図鑑の完成をイメージして、目次を作ることにより、情報を整理する。 ◇発表・観察	
		まとめ表現	○「下級生も読みやすい図鑑を作ろう」という相手意識をもって、分かりやすくまとめ、表現することができる。	・自分が興味を持った項目について、その特徴がわかるように、図鑑の形式にまとめる。（3） ・まとめたページを一人ひとり発表し、一つの図鑑としてまとめる。（1）	＊図鑑の読者として「３年生」を想定し、下級生にもわかりやすい表現となるように指導する。 ◇発表・観察 ◇図鑑 ◇ふりかえり	
8 （3）	「キーワードけんさくをしよう」（3） □技能（パソコン操作）	情報活用	○パソコンとキーボード入力の基本を習得し、調べたいことを検索することができる。	・パソコンを起動したり、タイピングソフトやタイピングページを使ってひらがな入力をしたりする。（2） ・自分の調べたいキーワードを決め、検索エンジンを使って、調べる。（1）	＊ yahoo キッズの「ひらがなタイピン　グ王」が学習に適している。 ◇発表・観察	・yahoo キッズの「ひらがなタイピング王」

9 （7）	「ニシンの海」（１３） □課題の設定 □主体性	課題の設定	○ニシンについて、自分が知っていることや疑問に思ったことをについて積極的に話し合い、今後の学習の課題を考えることができる。	・これからの学習内容を知り、単元の見通しを持つ。 ・ニシンについて知っていることと疑問に思ったことをについて話し合い、一覧表にまとめる。（１） ・一覧表を整理して調べ学習の計画を立てる。（１）	＊これからの活動に、興味関心をもち、意欲的に計画を立てることができるよう支援する。	
	□情報活用能力 □知識（ニシン） □技能（要点メモ）	情報収集	○インターネットや図書資料から情報を集めることができる。 ○道立水産試験場で、自分たちの疑問を解決するために、積極的に質問をしたり、事物に触れたりして、追究することができる。	・疑問一覧表の疑問について、図書資料やインターネットで検索し、自分なりに調べ、学級で共有化する。（２） ・道立中央水産試験場で「ニシン学習」を実施し、ニシンの生態について学んだり、水産試験場での工夫に触れて学習する。（２）（施設見学１・ニシン学習１） ・水産試験場職員にインタビューをして、自分たちの疑問を解決する。（１）	＊資料やインターネットにで調べ学習を行う。 ＊学習したことは、ワークシートにまとめさせ、ポートフォリオに整理させる。 ◇発表・観察 ◇ワークシート	・「ニシン学習」はバス見学学習の一部ととして実施する。 ・事前に余市町の中央水産試験場に連絡を取り、学習内容について連携しておく。
１０ （4） １１前 （2）	□課題解決力 □課題発見・設定能力 □表現力 □主体性 □協働性 □ふりかえり	整理分析	○ニシンについて　調べてことを整理・分類し、特徴を見つけることができる。	・ニシン学習で学んだことを分類し、整理する。（１） ・一人ひとりが興味を持ったことを図鑑の形式にまとめることを理解し、学級全体で項目を分担する。（１）	＊図鑑の形式は、統一する。 ＊図鑑の完成をイメージして、目次を作ることにより、情報を整理する。 ◇発表・観察	
		まとめ表現	○「下級生も読みやすい図鑑を作ろう」という相手意識をもって、分かりやすくまとめ、表現することができる。	・自分が興味を持った項目について、その特徴がわかるように、図鑑の形式にまとめる。（３） ・まとめたページを一人ひとり発表し、一つの図鑑としてまとめる。（１）	＊図鑑の読者として「３年生」を想定し、下級生にもわかりやすい表現となるように指導する。 ◇発表・観察 ◇図鑑 ◇ふりかえり	
１１中 （3）	「古平とニシン」 （１２） □課題の設定 □主体性	課題の設定	○ニシン漁と古平町の関りについて、自分が知っていることや疑問に思ったことをについて積極的に話し合い、今後の学習の課題を考えることができる。	・「モッコ」と「タモ」を観察し、観察から分かったことやわからないことを交流する。さらに、古平町の始まりにこの２つの道具が深くかかわっていたことを知る。（１） ・社会科副読本から古平町はニシン漁の町として始まったことを学ぶ。（１） ・ニシン漁について、知っていることとわからないことを、一覧表を整理して調べ学習の計画を立てる。（１）	＊これからの活動に、興味関心をもち、意欲的に計画を立てることができるよう支援する。 ◇発表・観察 ◇ワークシート	・テキストは社会科副読本 ・郷土資料室から「モッコ」と「タモ」を借りておく。

１１後 （３） １２前 （２）	□知識（ニシン漁） □技能（要点メモ）	情報収集	○余市水産試験場で、ニシン漁についての情報を集めることができる。 ○自分たちの疑問を解決するために、積極的に質問をしたり、事物に触れたりして、追究することができる。	・疑問一覧表の疑問について、図書資料やインターネットで検索し、自分なりに調べ、学級で共有化する。（２） ・余市水産博物館で「ニシン漁学習」を実施し、昔のニシン漁について学んだり、昔の漁師の工夫について学んだりする。（２） （施設見学１・ニシン漁学習１） ・学芸員にインタビューをして、自分たちの疑問を解決する。（１）	＊資料やインターネットにで調べ学習を行う。 ＊学習したことは、ワークシートにまとめさせ、ポートフォリオに整理させる。 ◇発表・観察 ◇ワークシート	・「ニシン漁学習」のためにバスを予約しておく。 ・事前に余市町の水産博物館に連絡を取り、学習内容について連携しておく。
１２後 （４）	□課題解決力 □課題発見・設定能力 □表現力 □主体性 □協働性	整理分析	○ニシンについて　調べてことを整理・分類し、特徴を見つけることができる。	・ニシン学習で学んだことを分類、整理する。一人ひとりが興味を持ったことを図鑑の形式にまとめることを理解し、学級全体で項目を分担する。（１）	＊図鑑の形式は、統一する。 ＊図鑑の完成をイメージして、目次を作ることにより、情報を整理する。 ◇発表・観察	
		まとめ表現	○「下級生も読みやすい図鑑を作ろう」という相手意識をもって、分かりやすくまとめ、表現することができる。	・自分が興味を持った項目について、その特徴がわかるように、図鑑の形式にまとめる。（２） ・まとめたページを一人ひとり発表し、一つの図鑑としてまとめる。（１）	＊図鑑の読者として「３年生」を想定し、下級生にもわかりやすい表現となるように指導する。 ◇発表・観察 ◇図鑑 ◇ふりかえり	
１ （２） ２前 （４）	「プレゼンテーションをしよう」（５） □情報活用能力 □技能（パソコン操作）	情報活用	○プレゼンテーションソフトの基本操作を理解し、簡単なスライドを作成することができる。	・プレゼンテーションソフト（パワーポイント）を起動し、タイトルや説明文を入力し、スライドを保存することができる。（２） ・自分の作成したスライドを立ち上げ、写真を挿入したり、文字を色づけたりすることができる。（２） ・作成したスライドに、簡単なアニメーション効果を加えることができる。（２）	＊「自分の好きな食べ物」など、児童が興味の湧きやすいテーマで、スライドを作成する。 ＊挿入画像は、事前に準備しておく。 ＊共有ハードディスクに、データを保存する。 ◇発表・観察 ◇スライド	
２後 （５） ３ （６）	「わかりやすく伝えよう」（５） □情報活用能力 □まとめ表現 □ふりかえり	まとめ表現	○４年生で学習したことをふりかえってテーマを選び、学んだプレゼンテーションソフトでわかりやすくまとめ、相手意識を持って発表することができる。	・作成した図鑑を振り返り４年生で学んだことを確認する。さらに、４年生最後の発表会で発表するグループとそのテーマを決める。（２） ・ワークシートに、プレゼンテーションスライドの基本形を下書きする。（２） ・プレゼンテーションソフトを使って、スライドを作成する（４） ・参観日に向け、相手を意識して、発表練習をする。（１） ・参観授業として「４年生総合学習発表会」を実施する。（１） ・発表会と４年生での総合学習全体を振り返り、次年度への展望を持つ。（１）	＊スライドの基本形は、「タイトル・写真・説明文」という３点で構成する。 ＊グループ内に、二人ペアを作り、共同的にスライドを作成させ、最後に全てのスライドをつなぎ合わせるようにさせると、時間の無駄を防ぐことができる。 ＊グループどうして発表する側と見る側にわかれ、意見交換をする。 ◇発表 ◇スライド ◇ふりかえり	

第４学年　総合的な学習の時間　学習指導案

日　時　令和元年１２月５日　５校時
児　童　４年生　２０名
授業者　木　村　孝　司

１．単元名『ニシンの海』

２．単元の目標

【知識及び技能】
「ニシン」について探求していく中で，「ニシン」の価値を実感的に捉えていく。

【思考力，判断力，表現力等】
課題を持ち，インタビューやインターネット，見学などを通して情報を収集する。学んだことを新聞づくりを通して，表現できるようにする。

【学びに向かう力，人間性】
学習を振り返り，自己の学びの良さや課題を知り，今後の学習に活かそうとする思いを持つ。

３．単元について

古平小学校の児童にとって，海や漁業は身近な存在である。しかし，それらについてよく知っているかというと，残念ながら「知っているつもり」だったり，「身近すぎてあまり意識したことがない」という現状である。

そこで，総合的な学習の時間の中で海や漁業について学ぶことで，ふるさと「古平」を考える機会としたい。

本単元では，古平の歴史を学ぶときのポイントとなる「ニシン」について探求していく。学びの過程で，「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」といった総合的な学習の時間を深い学びの場とするための基本的なスキルを身につけさせたい。

４．学級の実態と研究の視点に関わって

⑴ 視点１「子どもの問題意識を誘発し，自ら考えたり，体験しようとする意欲を高める教材との出会いや単元構成」に関わって

子どもたちにとって「ニシン」は身近な存在ではないと思われる。これから「ニシン」について探求していくには，良くも悪くも興味・関心を持たせる必要がある。そこで，「ソーラン節」を聴くことで古平との関係を意識させたり，映像を見せることで「美しさ」「迫力」を感じさせたり，試食することで「ニシン」を体験させたりすることを学びのスタートとする。

また，自分達の学びに関わった方々に「発表」するというゴールを設定することで，探求活動を自分ごととし，自ら関わっていこうという気持ちを高めていきたい。

⑵ 視点２「一人ひとりを大切にし，子供の学びをより主体的なものに高める学習過程や教師の支援」に関わって

「主体的に学ぶ」ためには「自己決定」をする場が必要である。自己決定の場として「学習の課題を設定すること」「学習の見通しを持つこと」「学習を振り返って修正すること」「学習を振り返って自己の学びの良さや課題を見出すこと」などがある。これらは，本来児童自身が行うものであるが，発達段階を考慮して，教師からのアドバイスという形で支援していきたい。

５．単元構成（１３時間）

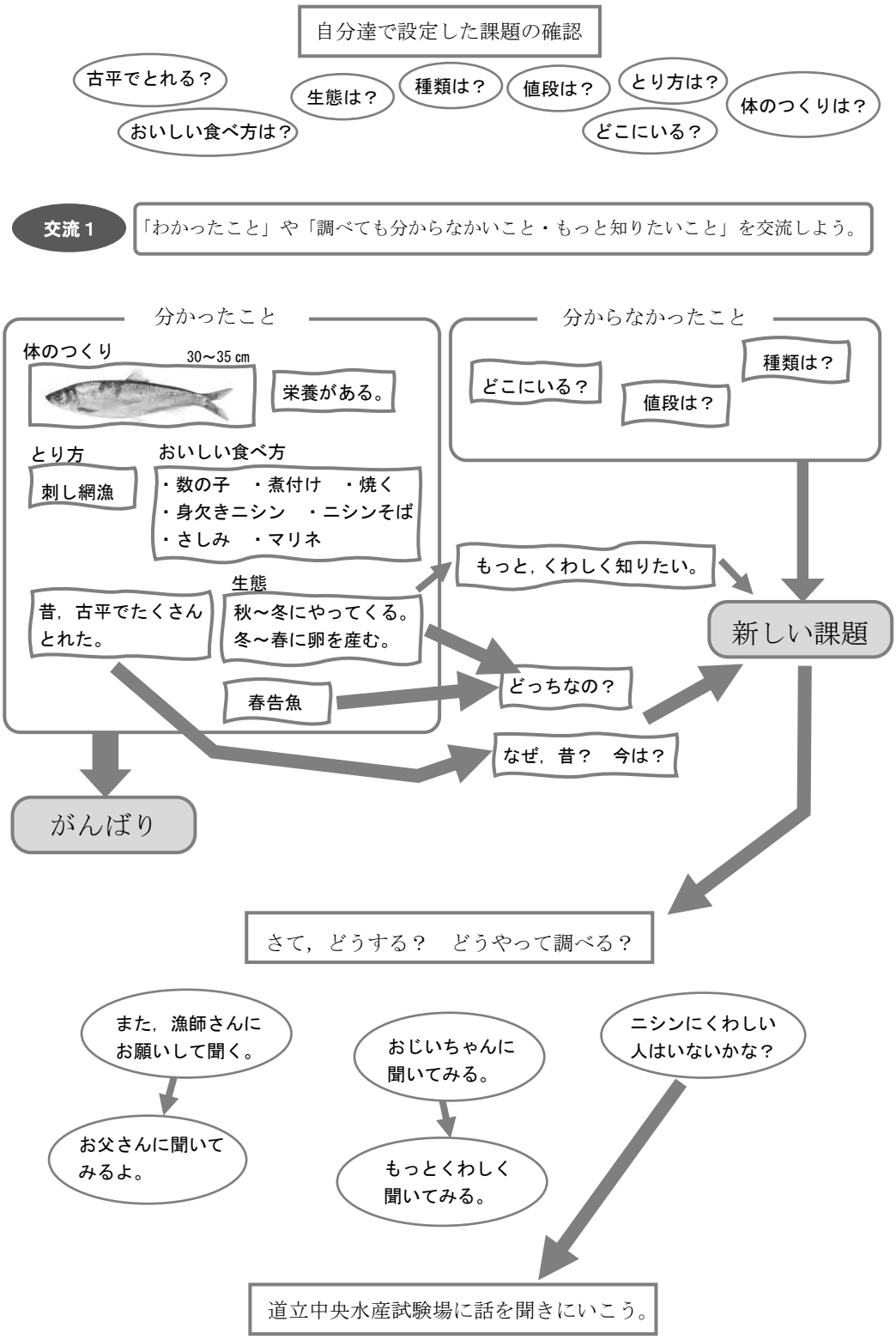
学習活動のねらい	主な学習活動	構成のポイント
【課題の設定】 ニシンについての疑問を整理し，課題を明確にする。（２時間）	音楽の時間に学習した『ソーラン節』を聴いてみよう。 ニシン漁の歌だ。 この歌は積丹半島から余市の地域で歌われ始めたそうだよ。 知らなかった。 古平でニシンがとれるんだね。 ニシンってどんな魚だっけ？ ニシンの映像を観たり，実際に食べたりしよう。 きれいだね。 速い。 大群だ。 生臭くて苦手。 案外おいしい。 古平と関係のある「ニシン」について調べよう。 付箋に書き出そう。 知っていること ・あまり食べない。 ・苦手 ・数の子がとれる。 ・身欠きニシン ・昔，たくさんとれたらしい。 疑問に思うこと ・どんな魚か？（体，生態，味） ・古平のほかにどこでとれる？ ・とりかたは？ ・どんな食べ方がある？ 分類・整理して課題を作ろう。	・KJ 方を用いて，課題を明確にする。
【情報の収集】 課題解決に向けて，調べる。（５時間）	自分の課題を調べよう。 身近な人に聞いてみよう。 本やインターネットで調べよう。 交流１ 「わかったこと」や「調べても分からないこと・もっと知りたいこと」を交流しよう。 新しい課題を調べよう。 道立中央水産試験場でニシンのことを学ぼう。	・調べたことはカードに書き込み，交流に活用する。 ・交流することで，さらに学習の方向性を明確にする。
【整理・分析】 課題解決に必要な情方を取捨選択する。 （２時間）	学んだことを整理して，発表する準備をしよう。 交流２ 整理したことを交流しよう。	・学んだことを整理・分析し，まとめるべき情報をしぼる。
【まとめ・表現】 学んだことをまとめ，発表・交流する。 自分の学びを振り返る。（４時間）	学んだことを新聞形式にまとめよう。 交流３ 発表・交流しよう。 ニシンについて分かることが増えた。 学びを振り返ろう。 ニシンと古平の関係もっと知りたい。 調べるのが上手になった。 前より発表が上手になった。 次の学習ではもっと上手に調べたい。	・既習を生かし，相手によりよく伝わるようにまとめる。 ・互いの学びの良さを交流し，自分の学びを振り返る。

６．本時の目標

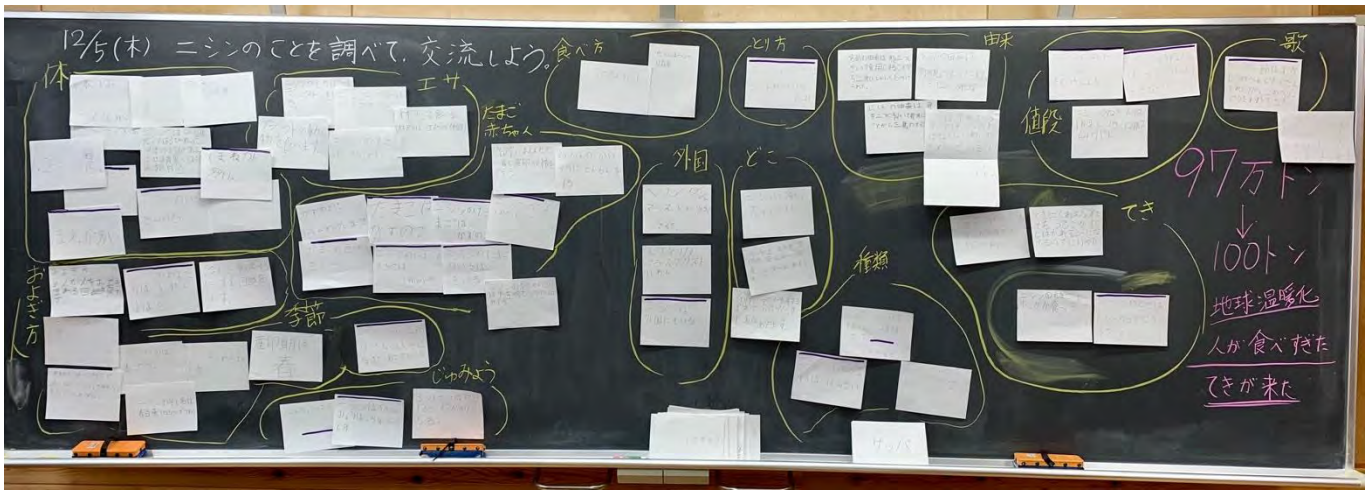
ニシンについて調べたり，聞いたりしたことを交流し，情報を整理・分析する活動をして通して，自分たちの学びの良さやを感じたり，今後の学習の見通しを持ったりすることができる。

（思考力・判断力・表現力等）

７．本時の展開（４／１３）

児童の活動	教師のかかわり
	・これまでの学習を想起させる。 ・「自分達の頑張りと新しい課題」を見つけるために交流することを確認し，見通しを持たせる。 ・分かったことを発表する中でも，新たな疑問に着目させる。 ・調べたことだけではなく，聞いてきたことも発表させる。 ・ニシンについての知識が増えたことで自分達の頑張りにふれる。 ・分からなかったことや新たな疑問を整理し，「新しい課題」として共通理解を図り，次の学習の見通しや意欲を持たせる。

８．板書



９．授業の反省（授業分析を受けて　○成果　●課題）

○ 交流場面での子ども呟きや発表からも，新たな疑問や掘り下げたい課題が生まれた。

○ 子どもの発言内容にズレが生じたときに，意欲が高まった。

○ 実際の写真を用いることで，意欲を高めることができた。

● 時間の配分がよくなかった。

● グルーピングは教師主導になっていたが，子どもに委ねるべきであった。（そのような学習ができるように育てる必要がある。）

● 曖昧な情報からも個人の課題が生まれてくる。そこを見とれなかった。

見学前にはっきりと!!

4年　番　名前

☆ ニシンについてとくに何を知りたいのか!!

No1. _____

No2. _____

No3. _____

MEMO

MEMO

見学の感想

わかったこと　学んだこと
もっと知りたいこと　課題

※ 12/10(火)に学校に持ってきてください！

総合的な学習の時間　学習指導案

２０１９年４月２６日

古平町立古平小学校　第３学年　１９名

指導者　　間所　和暁

○単元の指導計画

月	「小単元」 □評価の観点	課程	学習目標と評価	学習活動	＊留意点 ◇評価方法
4 (6)	「サケの稚魚」 １（17） □課題の設定 □主体性	課題の設定	○サケについて事前に自分が知っていることや、稚魚の様子を調べて不思議に思ったことについて積極的に話し合い、今後の学習の課題を考えることができる。	これからの学習内容を知り、１年間の見通しを持つ。　６ｈ ・サケについて知っていることと不思議に思ったことをについて話し合い、一覧表にまとめる。（２） ・サケの稚魚を調べ、不思議に思ったことを話し合う。（２） ・一覧表を整理して調べ学習の計画を立てる。（２）	＊これからの活動に、興味関心をもち、意欲的に計画を立てることができるよう支援する。 ◇発表・観察
5 (6)	□知識（サケ稚魚） □技能（要点メモ）	情報収集	○身近なところから情報を集めることができる。 ○積極的に事物に触れたり、興味を持ったことを追究することができる。	サケの稚魚を放流し、分からないことを調べる。９ｈ ・サケの放流を実際に行う。（３） ・放流の様子を振り返り、調べ学習の計画を見直す。（２） ・サケの稚魚について調べる。（４）	＊学習したことはノートにまとめさせ、ポートフォリオに整理させる。 ◇発表・観察 ◇ワークシートへの記入
6 (8)					
	□課題解決力 □課題発見・設定能力	整理分析	○サケの稚魚について調べてことを整理・分類し、特徴を見つけることができる。	サケの稚魚についてまとめる計画を立てる。２ｈ ・サケの稚魚を観察したり放流したりして学んだことを分類し、整理する。（１） ・一人一人が興味を持ったことをポスターの形式にまとめることをまとめていく計画を立てる。（１）	＊完成をイメージして、情報を整理する。 ◇発表・観察 ◇ワークシートへの記入

○本時の展開（７～９／17）

児童の活動	指導上の留意点／評価と支援
※古平川まで徒歩移動 ○小樽水産高等学校古平実習場の先生より、放流の仕方を教わる ・水槽（1.5m×3m×1m 程度）から網でポリコップに１０匹程度稚魚を移す。 ※手で稚魚を触ると弱るので注意。 ・稚魚の数を数え、実習場の先生に報告する。 ・実習場の先生の補助を受けながら、川に放流する。	※事前の準備 ・暖かい服装　　・長靴 ・移動中の交通安全について、また、河川での活動について事前指導。 ○放流場所について 古平大橋より２００m 程度下流の東岸。護岸等はない。
○稚魚を放流する 「水が冷たい！」 「いっぱいいれすぎちゃった。」 「いっぱいいるけど終わるのかな？」 … ○放流について振り返る 「どのくらい放流したかわかる？」 「カウンターで２０３０になりました。」 「どのくらい戻ってくるんですか？」 「４%くらいです。なので、８０匹くらいですね。」 「いつ戻ってくるんですか？」 「４年後です。皆さんが中学生になってからですね。」 「見に来たいなあ。」	・川への落下が考えられるので、児童の動きに注意する。 ・放流手順の遵守を確認。 ・スムーズに進むよう児童を誘導。

令和元年度

古平町立古平小学校

海洋教育パイオニアスクールプログラム実践発表

「はじめての海洋教育」

発表者　４年　齋藤　暖真
佐藤　奏輔

出会い「移動理科教室」

- 海藻の観察をしていると，小さな生き物が…。

出会い「移動理科教室」

- 海藻の標本も作りました。

【３年】

自然環境「サケの稚魚」

自然環境「水中や水辺の生き物見学」

自然環境「サケの一生」

自然環境「サケの稚魚」

課題の設定

- サケについて知っていること・疑問
- 稚魚を図鑑で調べて不思議に思ったこと

情報収集

- 飼育の仕方を小樽水産高校の先生に教わり，放流
- 稚魚を飼育し，観察

整理・分析

- 観察したことや学んだことを分類・整理

まとめ・表現

- ポスター作り・発表

自然環境「サケの稚魚」

- サケの放流をしました。

自然環境「水中や水辺の生き物見学」

情報収集　●おたる水族館で海洋生物を見学

まとめ・表現　●ポスター作り・発表

自然環境「サケの一生」

課題の設定

●サケの一生について知っていること・疑問

情報収集

● 一生や飼育法を小樽水産高校の先生に教わる
● 卵を飼育し，観察

整理・分析

●観察したことや学んだことを分類・整理

まとめ・表現

●紙芝居作り・発表

自然環境「サケの一生」

- 人工授精の様子です。

【４年】

自然環境　「漁師さんの仕事」

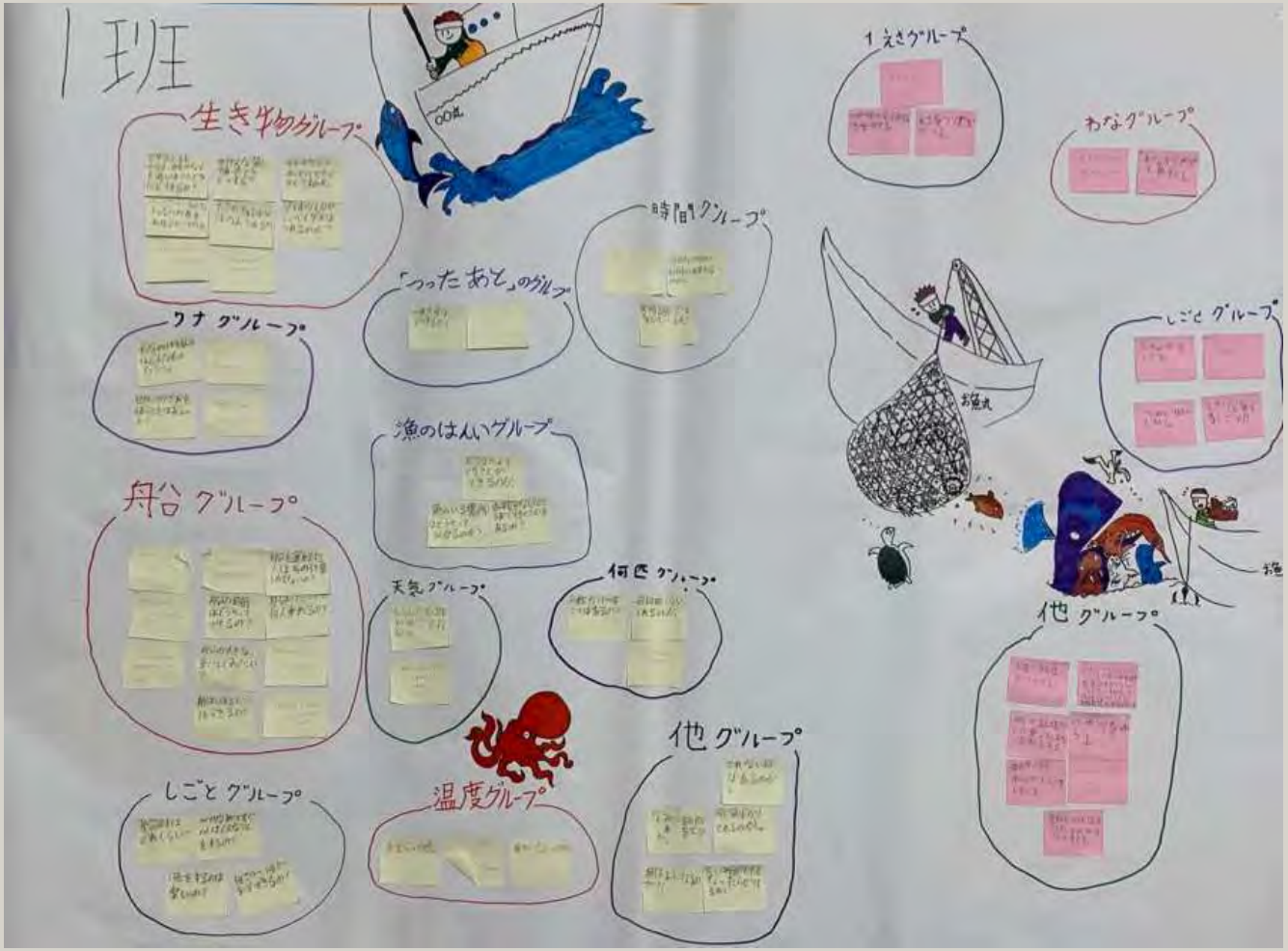
自然環境　「ウニの海」

自然環境　「ニシンの海」

町づくり　「古平とニシン」

情報活用　「総合的な学習発表会」

自然環境「漁師さんの仕事」



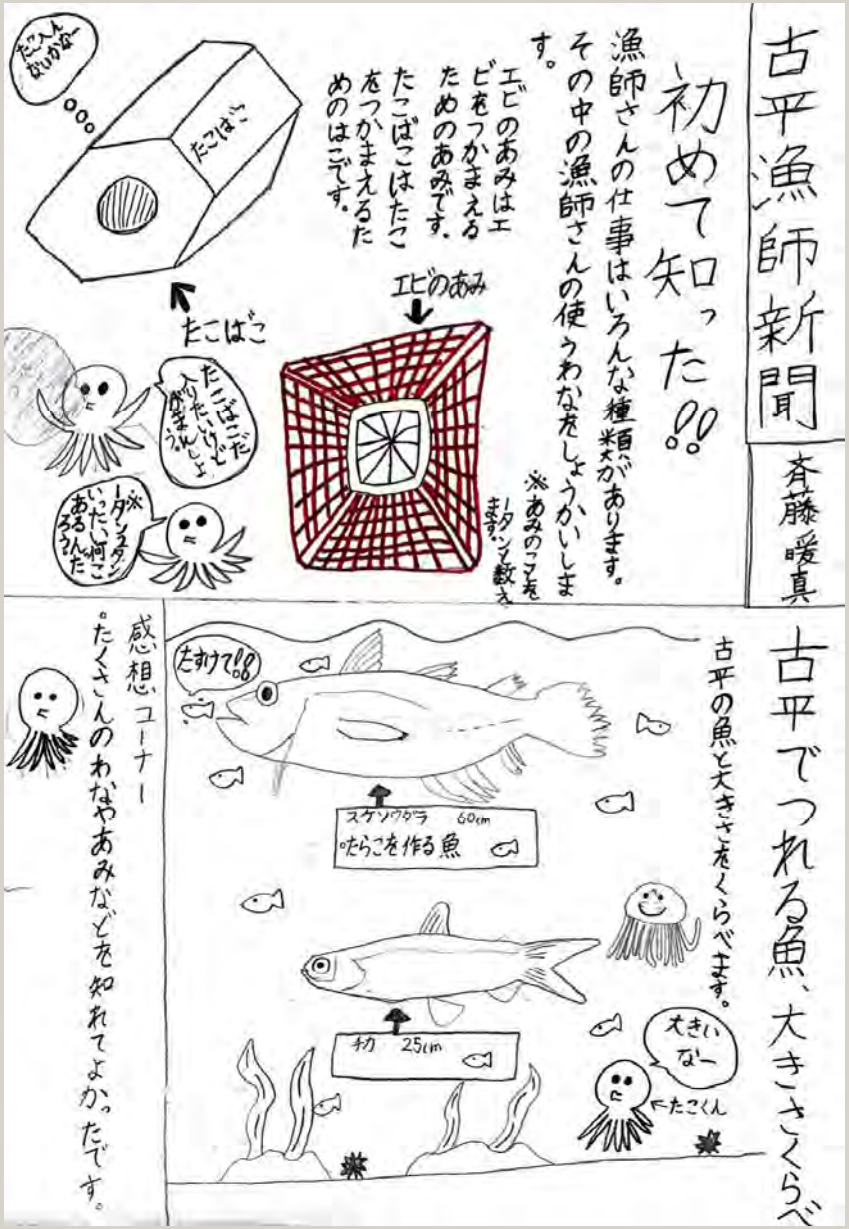
- 知っていること…ピンク
- 疑問に思ったこと…黄 色

- 付せんをグループ分けして
  みんなで交流しました。

自然環境「漁師さんの仕事」

- 疑問に思ったことを教えてくれました。
- エビをとるカゴや魚をとる網を見せてくれました。
- 漁師さんの仕事は，思っていたよりも大変でした。

自然環境「漁師さんの仕事」



体験「海浜清掃」

- 中学校・小学校・幼児センターで協力して，ゴミ拾いをしました。
- 思っていたよりも，ゴミが多かったです。
- 海の生き物がかわいそう…。

出会い 「磯ツブ駆除体験」

- なぜ，駆除するんだろう…？

自然環境「ウニの海」

課題の設定 ●ウニやウニ漁について知っていること・疑問

情報収集 ●漁師さんの「出前授業」で疑問を解決

整理・分析 ●学んだことを分類・整理

まとめ・表現 ●新聞作り・発表

自然環境「ウニの海」

- 疑問に思ったことを教えてくれました。
- ウニをとる道具を見せてくれました。
- ウニの体がどうなっているか教えてくれました。

- 5時間も1人でとり続けているなんて…，思っていたよりも大変な仕事でした。

自然環境「ウニの海」

古平ウニ新聞
ウニの体のしくみ
キタムラサキウニは、10cm～15cmです。エゾバフンウニは、10cmぐらいです。ウニにはしょくしというものが、あります。どちらのウニも口があります。
ウニは便をする。ウニが食べるのはほとんどかいそうツブは天てき!!
ウニの口器
エゾバフンウニ
図かんで調べました。
ウニのねだん
キタムラサキウニのねだんは100g、1500円です。エゾバフンウニは、キタムラサキウニの2倍で、3000円
ウニは何こいたでしょうか。
ウニコマンガ
ウニを買いにいった。
結局殿さまがウニをもらった。
CM
感想
補ぼくはウニのことを調べました。イソップ体けん発もできて本当にたのしかったです。
最勢ぼくはいそつぶをくじょをすることがとてもたいへんでしたいそつぶをくじょしたいです。

自然環境「ニシンの海」

課題の設定 ●ニシンついて知っていること・疑問

情報収集 ●道立中央水産試験場でニシンの生態を学習

整理・分析 ●学んだことを分類・整理

まとめ・表現 ●新聞作り・発表

町づくり 「古平とニシン」

課題の設定

- 「モッコ」「タモ」を観察
- 社会科副読本で古平町のことを学ぶ
- ニシン漁について知っていること・疑問

情報収集

- 図書資料やインターネットの活用
- 余市水産博物館で昔の漁師さんの工夫について学ぶ

整理・分析

- 学んだことを分類・整理

まとめ・表現

- 新聞作り・発表

情報活用 「総合的な学習発表会」

まとめ・表現

- 新聞を振り返り，４年生で学んだことを確認
- プレゼンテーションソフトでスライドを作る
- 参観日に「総合的な学習発表会」を実施

- 古平町には，近くに海があり，漁師さんもたくさんいます。
- でも，知らないことたくさんありました。
- だから，もっともっと自分たちの町のことを知りたくなりました。
- 最後まで発表を聞いてくださり，ありがとうございました。